

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査 結果概要

### 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査対象・内容、調査期日及び調査方式

○ 調査対象・内容

(1) 小学校

ア 対象 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年

イ 内容 国語、算数、児童質問調査

(2) 中学校

ア 対象 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、中等教育学校前期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

イ 内容 国語、数学、生徒質問調査

※ 学校質問調査を併せて実施

○ 調査期日 令和6年4月18日(木)

※ 児童生徒質問調査及び学校質問調査は、文部科学省が指定した期日・期間に学校ごとに実施

○ 調査方式 悉皆調査

### 3 調査を実施した学校・児童生徒数

小学校	学校数(校)	児童数(人)	
		国語	算数
茨城県(公立)	451	21,774	21,767
全国(公立)	18,466	947,364	947,579

中学校	学校数(校)	生徒数(人)	
		国語	数学
茨城県(公立)	235	21,495	21,492
全国(公立)	9,268	875,574	875,952

### 4 結果一覧

(%は平均正答率)

区分	小学校調査		中学校調査	
	国語	算数	国語	数学
<b>茨城県</b>	<b>67%</b>	<b>62%</b>	<b>59%</b>	<b>51%</b>
全国(公立)	67.7%	63.4%	58.1%	52.5%
順位	23位	25位	7位	23位

【参考】前回調査(令和5年度)の結果

区分	小学校調査		中学校調査		
	国語	算数	国語	数学	英語
茨城県	67%	61%	71%	51%	45%
全国(公立)	67.2%	62.5%	69.8%	51.0%	45.6%
順位	17位	27位	5位	15位	15位

※ 順位については、国から提供された都道府県の平均正答率をもとに県が算出

※ 都道府県別の教科の平均正答率は、国から、小数点以下を四捨五入した整数値で提供されている。

## 5 教科に関する調査の結果概況

### 【小学校】国語 結果の概況

◇関連する情報の結び付け方を理解し、使うことはできている。	(2)一(2)	県 86.5%	国 86.9%
◇目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にすることはできている。	(2)一(1)	県 80.8%	国 80.3%
◆漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。	(2)三ア	県 39.6%	国 43.4%
◆相手や目的に合わせて説明の仕方を工夫することに課題がある。	(1)二(2)	県 54.6%	国 52.9%

学習指導要領の内容、評価の観点ごとの平均正答率 (%)

分類	区分 (問題数)	平均正答率 (%)		
		茨城県	全国	
学習指導要領 の内容	知・技	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (4)	62.3	64.4
		(2)情報の扱い方に関する事項 (1)	86.5	86.9
		(3)我が国の言語文化に関する事項 (1)	74.0	74.6
	思・判・表	A 話すこと・聞くこと (3)	61.0	59.8
		B 書くこと (2)	71.0	68.4
		C 読むこと (3)	69.9	70.7
評価の観点	知識・技能 (6)	68.3	69.8	
	思考・判断・表現 (8)	66.8	66.0	

### 【中学校】国語 結果の概況

◇目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にすることはできている。	(3)一	県 82.2%	国 81.4%
◇行書の特徴についての理解はできている。	(4)三	県 81.4%	国 75.6%
◆文章と図表などを結び付け、内容を捉えることに課題がある。	(2)一	県 36.4%	国 36.3%
◆目的や条件に合わせて書く（要約する）ことに課題がある。	(2)四	県 43.0%	国 42.6%

学習指導要領の内容、評価の観点ごとの平均正答率 (%)

分類	区分 (問題数)	平均正答率 (%)		
		茨城県	全国	
学習指導要領 の内容	知・技	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (3)	57.2	59.2
		(2)情報の扱い方に関する事項 (2)	59.7	59.6
		(3)我が国の言語文化に関する事項 (1)	81.4	75.6
	思・判・表	A 話すこと・聞くこと (3)	61.2	58.8
		B 書くこと (2)	65.9	65.3
		C 読むこと (4)	48.4	47.9
評価の観点	知識・技能 (6)	62.0	62.0	
	思考・判断・表現 (9)	56.6	55.4	

### 【小学校】算数 結果の概況

◇数量の関係を、□を用いた式に表すことはできている。	(1)(2)	県 87.0%	国 88.5%
◇直方体の見取図について理解し、かくことはできている。	(3)(1)	県 85.0%	国 85.5%
◆道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。	(4)(3)	県 29.9%	国 31.0%
◆折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述することに課題がある。	(5)(3)	県 42.8%	国 44.0%

学習指導要領の領域、評価の観点ごとの平均正答率 (%)

分類	区分 (問題数)	平均正答率 (%)	
		茨城県	全国
学習指導要領の領域	A 数と計算(6)	64.9	66.0
	B 図形(4)	65.4	66.3
	C 変化と関係(3)	51.1	51.7
	D データの活用(4)	60.1	61.8
評価の観点	知識・技能(9)	71.4	72.8
	思考・判断・表現(7)	50.6	51.4

### 【中学校】数学 結果の概況

◇問題場面における考察の対象を捉えた上での正の数と負の数の加法の計算はできている。	(6)(1)	県 88.8%	国 90.2%
◇二つのグラフにおける y 軸との交点について、問題場面に合わせて解釈することはできている。	(8)(1)	県 84.0%	国 83.4%
◆問題の場面を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。	(8)(2)	県 18.5%	国 17.1%
◆筋道を立てて考え、証明することに課題がある。	(9)(1)	県 21.5%	国 25.8%

学習指導要領の領域、評価の観点ごとの平均正答率 (%)

分類	区分 (問題数)	平均正答率 (%)	
		茨城県	全国
学習指導要領の領域	A 数と式(5)	49.5	51.1
	B 図形(3)	37.6	40.3
	C 関数(4)	61.3	60.7
	D データの活用(4)	53.9	55.5
評価の観点	知識・技能(11)	61.3	63.1
	思考・判断・表現(5)	29.3	29.3

## 6 教科に関する児童生徒質問調査結果

※「当てはまる・どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

	国語の勉強は好き		国語の勉強は大切		国語の学習は将来に役立つ	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
茨城県	64.0%	66.1%	95.1%	93.9%	94.2%	91.4%
全国	62.0%	64.3%	94.5%	93.9%	93.2%	90.6%

	算数・数学の勉強は好き		算数・数学の勉強は大切		算数・数学の学習は将来に役立つ	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
茨城県	60.9%	55.0%	94.7%	88.7%	94.6%	79.9%
全国	61.0%	57.2%	94.6%	87.2%	94.1%	78.5%

- ・国語については、上記の全ての質問で全国と同等、もしくは上回る結果であった。
- ・算数・数学については、「算数・数学の勉強は好き」の質問で全国を下回った。「算数・数学の勉強は大切である」、「将来役立つ学習である」という意識をもつ児童生徒は全国を上回った。

- 令和6年度全国学力・学習状況調査における教科に関する調査問題、正答例、解説資料、質問調査については、国立教育政策研究所のホームページを参照してください。

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

7 生活習慣や学習環境に関する児童生徒・学校質問調査の結果

児童生徒質問調査より

○ 全国平均を上回った主な項目

- ・ 基本的な生活習慣等に関する内容 (「している」、「どちらかといえば、している」と回答した割合)

質問項目	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	84.0%	82.9%	81.7%	80.7%
健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか	85.4%	82.3%	81.5%	76.7%

- ・ 学習習慣、学習環境等に関する内容 (「できている」、「どちらかといえば、できている」と回答した割合)

質問項目	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	81.7%	80.7%	79.1%	78.6%

- ・ 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等に関する内容 (「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

質問項目	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
将来の夢や目標を持っていますか	84.7%	82.4%	68.0%	66.3%
友達関係に満足していますか	92.1%	91.1%	90.6%	90.1%
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	85.4%	83.5%	77.7%	76.1%

- ・ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善への取組状況に関する内容

(「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

質問項目	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	81.5%	79.6%	77.1%	75.4%
5年生までに〔1、2年生のとき〕受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	83.1%	81.9%	80.9%	80.3%
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	86.3%	84.2%	88.3%	86.3%

- ・ ICTを活用した学習状況に関する内容 (「とてもそう思う」、「そう思う」と回答した割合)

質問項目	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
5年生まで〔1、2年生のとき〕の学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。「友達と協力しながら学習を進めることができる」	88.6%	87.1%	88.8%	85.2%

▼ 全国平均を下回った主な項目

- ・ 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等に関する内容 (「当てはまる(よくある)」、「どちらかといえば、当てはまる(ときどきある)」と回答した割合)

質問項目	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
自分には、よいところがあると思いますか	82.7%	84.1%	82.7%	83.3%
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	91.4%	91.7%	89.4%	89.8%

- ・ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善への取組状況に関する内容

(「発表していた」、「どちらかといえば、発表していた」と回答した割合)

質問項目	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	65.8%	67.6%	63.6%	64.8%

**学校質問調査より**

○ 全国平均を上回った主な項目

- ・学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況に関する内容

(「よくしている」、「どちらかといえば、している」と回答した割合)

質問項目	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか	98.5%	96.0%	99.1%	94.2%

- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善への取組状況に関する内容

(「そう思う(よく行った)」、「どちらかといえば、そう思う(行った)」と回答した割合)

質問項目	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
調査対象学年の児童(生徒)は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	92.0%	88.2%	91.9%	88.4%
調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	93.4%	87.4%	92.8%	86.6%
調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	92.5%	85.7%	85.1%	78.6%

- ・総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳の指導方法に関する内容

(「よく行った」、「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

質問項目	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
調査対象学年の児童(生徒)に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っていますか	96.7%	92.6%	99.2%	92.4%

- ・国語科の指導方法に関する内容

(「よく行った」、「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

質問項目	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
調査対象学年の児童(生徒)に対する国語の授業において、前年度までに、「目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して(自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて)」文章を書くことができるような指導を行いましたか	97.1%	94.9%	98.3%	95.8%

- ・算数・数学科の指導方法に関する内容

(「よく行った」、「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

質問項目	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
調査対象学年の児童(生徒)に対する算数・数学の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	97.4%	92.3%	95.8%	88.5%

- ・ICTを活用した学習状況に関する内容

(「ほぼ毎日」、「週3回以上」「週1回以上」と回答した割合)

質問項目	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
調査対象学年の児童(生徒)が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	91.4%	83.6%	92.3%	82.1%

▼ 全国平均を下回った項目

- ・学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況に関する内容

(「よくしている」、「どちらかといえば、している」と回答した割合)

質問項目	小学校	
	茨城県	全国
授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか	97.8%	98.6%

- ・家庭や地域との連携等

(「そう思う」、「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合)

質問項目	中学校	
	茨城県	全国
コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか	83.0%	84.1%